

新型コロナウイルスワクチン接種関連情報

オンライン
予約はこちら



接種の予約や変更、キャンセル 予約センター ☎050-5445-4355

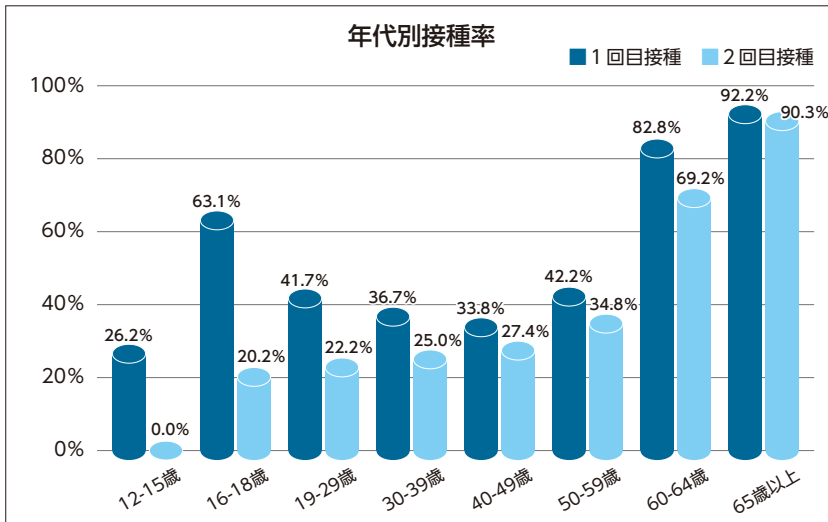
接種に関する相談

相談センター ☎050-5577-2804

▶午前9時～午後7時

11月中の希望者全員2回目接種完了に向けて確実に接種を進めていきます

本市の新型コロナウイルスワクチン接種状況 9月6日時点



	65歳以上		12歳以上64歳以下		全体	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
1回目	78,583	92.2%	73,390	45.1%	151,973	61.3%
2回目	76,994	90.3%	50,408	31.0%	127,402	51.4%

※最新の接種状況は市ホームページでご覧いただけます。
※医療従事者・福祉施設等従事者への優先接種や職域接種など、一般的な予約ではない接種も含んでいます。

65歳以上は9割以上が完了
(同時期の全国の接種率は87.1%)

対象者全体の半分以上が完了
一方で64歳以下は3割程度

9月7日から全区分の予約受け付け開始

10月中旬までに対象者の約8割分の
ワクチンが国から供給

11月中に希望者全員への接種完了

最新情報はここから

市ホームページ

福島市新型コロナ
ワクチン接種総合情報

検索



福島市公式LINEアカウント
ID: @fukushimacity



妊婦さんと赤ちゃんを守るために

やざわみほこレディースクリニック
院長 矢澤 美穂子さん

本市では、重症化しやすい妊婦のワクチン接種を促進し次代を担う子どもたちを守るため、妊婦やそのパートナーの集団接種を実施しています。今回は、その集団接種の協力医師にお話を伺いました。

妊婦の集団接種に協力しようと思ったのはなぜですか。

妊婦・胎児の命を守るため、ぜひワクチンを受けてほしいという思いがあったからです。産科婦人科学会でも接種を推奨していますし、私も、推奨しているからにはぜひ協力したいと考えていました。

妊婦やそのパートナーがワクチンを受けるとどんなメリットがありますか。

ワクチンを受けても、新型コロナウイルス感染症にかからないわけではありません。となると周囲が受けているだけでは不十分で、妊婦を守るために妊婦自身が受ける必要があります。また、パートナーが感染したり重症化したりすると、妊婦に

も生活面などで大きな負担がかかります。パートナーの接種にはそれを防ぐ意味もあります。

現在は出産時の立会い・面会などができない状況ですが、今後そういった制限に緩和の動きが出てきたときに、ワクチンを受けていることが要件になる可能性もあるでしょう。

妊婦やこれから妊娠を考えている方へメッセージをお願いします。

ワクチンが胎児に悪影響を与えたり、不妊になったりということはありません。感染して重症化した場合や後遺症が残ったときのことを考えれば、ワクチンを受けた方がよいと思います。不妊治療中や出産後でも受けられるので、安心してワクチンを受けてほしいですね。

防災と災害情報メールマガジンをご利用ください

災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。

●問/危機管理室☎525-3793

